

ニューズレター 経済教育学会

2019. Nov. No.32

会長挨拶・・・1 大会報告・・・2～3 春季研究集会案内・・・4 理事会議事録・・・5～8 2019 韓国経済教育学会夏季学術大会レポート・・・8

会長に高橋勝也会員が選出されました。ご挨拶を掲載します。

会長就任のご挨拶

経済教育学会会長 高橋勝也(名古屋経済大学)

経済教育学会会員の皆様、第 35 回全国大会(会場: 名古屋経済大学犬山キャンパス)での理事会において、この度会長に選出されました、高橋勝也です。この場をお借りして、就任のご挨拶を申し上げます。

「高橋が会長になるとは…」と、不安を感じている方も多かろうと存じます。自分自身でも、私で良いのかとの思いはありますが、長所であるリーダーシップを発揮し、全力を尽くして努めます。どうぞよろしく願いいたします。

私は学会へ入会して 10 年近くになります。最近、感じているのは、本学会に勢いが出てきているということです。歴代会長や事務局、皆様のおかげで、本学会は発展していると言って良いのではないのでしょうか。授業紹介、能動的学修研究会、地域研修会、ワーキングペーパーの開設、CORE プロジェクトなど好調です。引き続きよろしく願いいたします。また、韓国経済教育学会との国際学術交流もより一層です。今回の全国大会では、8 名の韓国の先生方の来日が実現し、これまた、勢いを感じます。公私にわたる国際交流は、両学会をさらに発展させていくことでしょう。裴光雄国際交流担当委員を中心に、さらなる発展を目指していきます。

私の独自色を出せるとしたら、自身の中高等教育教員としての 25 年間の経験を活かし、初等中等教育との連携、その上に立つ経済教育の発展です。学校現場は、皆様ご承知の通り、多忙の極みであります。そのような中、手弁当で学会に参加する初等中等教育教員は、とても貴重です。他学会では稀な、この貴重な戦力を皆様と一丸

となって発展するよう、努力していきます。

任期中に予定されている、城西国際大学での春季研究集会では阿部信太郎先生、日本大学での全国大会では、齋藤哲哉先生に大変お世話になります。開催校でお手伝い頂ける先生方にも宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、本学会が会員の皆様方の益々の研究のご発展に資する学会として、その役割を果たせるよう鋭意努力していきます。自身に会長としての力量や能力が不足する分、周りで支えてくれる方々、特に事務局の先生方とのコミュニケーションを密にとって、一つの事業を誠実に励んでまいります。



第35回全国大会の報告

大会実行委員長 高橋 勝也

本大会は例年の大会と同様に2日間に亘って、2019年9月28日(土)、29日(日)の両日で行われました。大会実行委員長である私が大会開会宣言を行った後、裴光雄会長からのご挨拶がありました。次に、開催校から佐分晴夫学長の挨拶がありました。今回は、日本の経済教育学会(JSEE)と韓国経済教育学会(KEEA)との協定締結後初めて、KEEA 会長李侖浩(イ・ユノ)会長の来日が実現し、ご挨拶を頂戴しました。折しも、日韓政府レベルの外交関係で緊張が走っている中、名古屋経済大学内は、終始、友好ムードが流れ続けました。韓国の先生方、誠にありがとうございました。



大会初日は、基調講演とシンポジウムで盛り上がりました。大会テーマは、「これからの社会をリードする「教育」—経済教育が果たす学習指導要領改訂を踏まえる高大接続システム—」でした。基調講演者は、合田哲雄文部科学省初等中等教育局財務課長です。前教育課程課長であった合田氏は、今回だけでなく、前回は学習指導要領改訂に携わった「ミスター学習指導要領」です。社会が激変する中で、これから経済教育に求められることについて、お話しいただきました。これからの未来社会



は、あらかじめ用意されているものではなく、大人(教員)も未来はこんな社会になると断言できない。だからこそ、AI時代にこんな力が必要という議論を超えて、創造性・社会性・公平性・個人の尊

厳といった価値が成立する社会を子どもたちに創造してほしいという意志が必要である。その意思を思想的・社会的な文脈で位置づけ、表現したものが「SDGs」である。持続可能な開発目標や課題に果敢に取り組む人材こそが、今回の学習指導要領改訂の前文に規定した「持続可能な社会の担い手」になると、経済教育のヒントをいただきました。

続くシンポジウムでは、山根栄次会員のコーディネートで、基調講演者合田氏とシンポジスト3名が登壇者となって進められました。今回のシンポジストは、中等教育学校現場で経験豊富な中学校・高等学校・大学の先生方にご登壇願いました。伊藤達也先生には、(名古屋市立志段味中学校教諭)「シミュレーション教材を効果的に活用した経済学習」をテーマにお話しいただきました。シミュレーション教材実践事例では、グループで意見やアイデアを出し合いながら、一つのものを作り上げていく楽しさを生徒が体感できている。主体的・対話的に生徒が授業に参加していることが紹介されました。森尚久先生(愛知県立緑



丘高等学校教頭)には、「商業は実学である—脱、検定至上主義の授業改革—」をテーマにお話しいただきました。商業科からの大学進学は、主に指定校推薦・資格推薦入試・AO入試といった推薦入試を利用した進学が多くなっている。進学するためには、各大学の示す評定基準と高度資格取得が必要になっている。このため生徒は熱心に取り組むが、授業の目的が検定合格・資格取得になってしまう傾向にある。今大会のサブテーマである、「高大連携システム」を考えると、検定至上主義から脱却し、どちらかという軽んじられてきたマーケティング分野・ビジネス経済分野の重要性が増していくのではないかと。経済教育を商業科で受けた生徒が、さらに学び続けるために大学へ進学するようになればよいとのご提言をいただきました。

竹澤伸一先生(名古屋産業大学現代ビジネス学部教授)



には、「大学生のキャリア形成につながる経済教育」をテーマにお話いただきました。中・高・大にわたる経済教育が有機的につながれば、経済教育とキャリア形成のレリバンズ(関係性)は、もっと多くの事例で顕在化させることができ、経済教育の固有の価値がより明確になってくるのではないかと。個々の学習者の物語

から真実を汲み取ろうとするナラティブ・アプローチの技法は、経済教育とキャリア形成のレリバンズを検証できる方法であり、経済教育の固有の価値の再発見につながるのではないかとご提言いただきました。その後の議論は、質疑応答まで白熱し、時間を少し延長するほど、盛り上がりました。毎回、完璧なコーディネートをしてくださる山根栄次会員に心から深謝申し上げます。ありがとうございました。



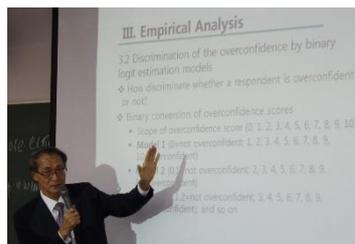
大会二日目は、例年通りに分科会が開催されました。今回は特設



セッション「CORE-econ プロジェクトの活用事例(第2報)ー留学生の場合ー」を皮切りに、40本の発表がありました。一部を写真掲載でご紹介いたします。



チャン・キョンホ氏
師範学部一般社会専攻学生の卒業後の進路決定要因分析



イ・ユノ氏
金融理解力自己過信とその判別



イ・ユンウ氏
韓国と日本の経済教育の実態と認識の変化についての研究



竹達健頭会員
発達障害等の特別な支援が必要な生徒へのシミュレーション教材を用いた経済・金融教育



金子幹夫会員
歴史的分野の授業内容と税教育の一考察



田村徳至会員
金融消費者教育の実践に関わる課題と今後の対策-教員免許状更新講習における調査結果を手がかりとして-

最後に、大会運営を支えてくださった実行委員会の先生方、いつも気を配ってくれた高橋勝也ゼミ諸君、本当にありがとうございました。次回、日本大学における大会も盛会になることを祈念いたしております。

(文責・高橋勝也)

2020年春季研究集会ご案内と報告者の募集

実行委員長 阿部 信太郎
(城西国際大学)

経済教育学会 2020年春季研究集会を下記のように開催いたします。会員各位のご参加、研究報告のお申込みをお待ちしております。皆様の研究の発展と交流の機会となりますよう、ご参集の程よろしくお願いたします。

日時: 2020年3月7日(土) 13:00~17:10 予定(受付 12:40 より)

会場: 城西国際大学紀尾井町キャンパス1号棟 (会場の教室は学会ウェブサイトで2月にご案内します)
地下鉄有楽町線麴町駅(5分)、半蔵門線半蔵門駅(8分)、地下鉄各線永田町駅(10分)

アクセス: <https://www.josai.jp/access/>

本学紀尾井町キャンパスは1号棟から5号棟まであります。会場は、麴町駅最寄り、文芸春秋本社隣、プリンス通りの1号棟です。お間違いないよう地図でご確認ください。

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

《プログラム予定》(*発表申込件数などの関係で時間は前後する可能性があります)

理事会 12:00~13:00

研究集会

12:40 開場(12:40) 受付開始

13:00~15:00 自由論題

15:00~15:15 コーヒーブレイク

15:15~17:10 自由論題 及び理事会からのお知らせ・自由討論など

懇親会 17:30~19:00

*研究集会プログラムは確定後の2月上旬に学会HPで公開し、学会メールマガジンでご案内いたします。

《研究発表申込み》 締切:2020年1月20日(月)必着

申込方法:学会ウェブサイトからのオンライン申込をお願いします。必要事項はオンライン上に表示されます。

①報告者名②ご所属・職務③連絡先電話番号④メールアドレス⑤発表テーマ⑥発表要旨(400字程度)。共同発表の際は、代表者の方を最初にご記入ください。代表者(発表者)は会員に限ります。申込者が多い場合には、発表テーマにより実行委員会で選定します。

《研究集会・懇親会参加申込み》 締切:2020年2月14日(金) (ウェブサイトからのオンライン申込)

・懇親会:当日 17:30-19:00 予定 会場未定(学会ウェブサイトで2月にご案内します)

・会費:5000円程度を予定(支払は当日)

《連絡先》 阿部信太郎 abes@jiu.ac.jp

経済教育学会理事会議事録

開催日時:2019年7月13日(土)12:30-16:00

開催場所:名古屋経済大学名駅キャンパス

出席者:岩田年浩、井草剛、大坂洋、川合宏之、久井田直之、齋藤哲哉、高橋勝也、高山 新、竹田英司、新里泰孝、橋本勝、裴光雄、水野勝之、塩田尚樹(会計監査)、宮下春樹(オブザーバー)

定足数30名、出席13名、委任状12名

◆議長選出◆ 会議に先立ち、議長に裴会長を、書記に川合理事を選出した。

◆報告事項◆

1. 地域研修会の実施報告

水野勝之理事、橋本理事より、6月22日、橘学苑中学校・高等学校(校長小岩利夫会員)で第5回経済教育学会研修会(第3回アクティブラーニング研修会)の実施報告があった。また、裴会長、高山理事より、5月25日、大阪教育大学天王寺キャンパスで第4回経済教育学会地域研修会(第1回西日本地域研修会)の実施報告があった。

2. 学会誌制作の進捗状況について

高橋理事より、次号38号の編集について進捗報告があった。投稿論文は4本投稿があり1本を掲載する。また、関連して、ワーキングペーパーの活用についても意見があった。

3. その他

(1)水野勝之理事より、ホームページに授業紹介のページの充実について提案があった。具体的には、掲載を希望する会員は原稿と写真を準備して川合理事(Hiroyuki.Kawai@red.umds.ac.jp)までメールで送ってほしい。調整のうえ掲載する。

(2)高橋理事より、第35回全国大会について、配布資料に基づき報告があった。今回の大会は、中・高の先生が参加しやすいよう後援に力を入れている。また、弘済会や大幸財団から助成金を獲得した報告もあった。弘済会からの助成金は主に中・高の先生の動員を図る広報費に使用し、大幸財団からの助成金は、韓国経済教育学会からの参加者の渡航費・滞在費等の補助として使用する。助成金については継続的なものではなく、愛知大会に限ることも確認された。その他、犬山キャンパス周辺はコンビニ等ないので、弁当等あらかじめ準備しておく必要があることや懇親会はキャンパス内食堂で実施されることなどが確認された。

◆審議事項◆

1. 2018年度決算案および会計監査報告

久井田理事より、2018年度の決算案の説明があり、異議なく承認された。塩田会計監査から決算報告が適正になされたとの報告があった。

2. 事務局の新体制について

裴会長より、事務局の新体制に関連して、宮下春樹会員の補充理事

への推薦がなされ、承認された。齋藤事務局長より、7月13日付で久井田理事を事務局長に、理事(会計担当)に宮下春樹理事への推薦がなされ、承認された。なお、齋藤理事は引き続き事務局を担当されることが確認された。

3. 韓国経済教育学会との協定の改定について

裴会長より、本学会から韓国経済教育学会への大会派遣日数について、現状2日間となっている。しかし韓国経済教育学会から本学会の大会派遣日数は3日間となっているため、同日数に改訂したい。韓国内陸部での大会開催の場合、移動の問題もあることが補足された。

4. 韓国経済教育学会夏季学術大会派遣者について

裴会長より、8月22日に慶北大学で実施される韓国経済教育学会2019KEEA夏季学術大会への参加について1名の応募があり、連携規定に基づき水野勝之理事が派遣参加することが報告、承認された。協定により2名の派遣が可能であることから、冬の大会派遣についても1名の募集を行うことも報告された。

5. 学会賞審査について

岩田理事、大坂理事より、学会賞の審査結果について、受賞対象者がいなかったことが報告、承認された。奨励賞の年齢引き上げや理事会推薦の導入問題なども引き続き検討することとなった。

6. 2020年3月の春季研究集会の開催校および2020年度全国大会開催校について

(1)2020年3月の春季研究集会の開催校について

裴会長より、2020年3月の春季研究集会について、城西国際大学(阿部理事)東京紀尾井町キャンパス大会で開催したいという提案があり、承認された。開催校の都合により、3月7日(土)とすることが確認された。

(2)2020年度全国大会開催校について

裴会長より、2020年度全国大会および2021年度全国大会について、韓国経済教育学会合同開催をしようかという提案があり、合同開催の方向で合意した。2020年度については9月に日本で実施し、2021年度については8月に韓国で実施する。関連して2020年度は韓国からの参加しやすいよう日本大学(齋藤理事、久井田理事)を第一候補とすることが確認された。提案に対して、参加者数が減るのではないかと、2020年度の全国大会開催校は他の会員から立候補があるかもしれない、発表の機会の確保するため春季研究集会の充実させたほうが良い、などの意見が出た。

7. 2019年度全国大会プログラムについて

高橋理事より、9月28日(土)、29日(日)に名古屋経済大学犬山キャンパスで実施される全国大会のプログラムを配布資料にもとづき提案がなされた。自由論題の分科会について、報告内容の採否を検討・議論したうえで、一部修正のうえ承認された。また各分科会について、座長(1.水野勝之理事、2.大坂理事、3.浅野会員、4.橋本理事、5.井草理事、6.猪瀬理事、7.高山理事、8.宇佐見理事、9.炭谷会員、

10. 水野英雄理事、11. 関本理事)が決定された。なお、今回の理事会に出席していない理事・会員への座長依頼については、裴会長または実行委員会から改めて連絡することが確認された。

8. その他

高橋理事より、新聞社による全国大会の取材申し込みの報告を受けた。それに対し、取材に当たっては、分科会はあらかじめ発表者に許諾を得る必要があることから、1日目のみの取材のみ許可することが確認された。(川宏宏之)

理事会議事録

日時:2019年9月28日(土)10時30分から12時45分

場所:名古屋経済大学

出席者:岩田年浩、宇佐見義尚、大坂洋、久井田直之、関本祐希、高山新、中里弘穂、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、裴光雄、松尾匡、松野至、水野勝之、八木尚志(大会実行委員のため、一部参加 高橋勝也、竹達健頭) 委任状:11名

議事に先立ち、議長に裴光雄会長、書記に新里泰孝が選出された。

報告事項

1. 大会実行委員長より開催について

高橋勝也大会実行委員長より、大会開催の運営状況の説明があった。

2. 8月の韓国経済教育学会(KEEA)夏季学術大会について

水野勝之理事より、8月22日の夏季学術大会(於 慶北大学)に学生5名とともに出席して口頭発表を行ったこと、久井田事務局長も参加し、日韓の学術交流および懇親を深めたことが報告された。また、事務局長はKEEAと今後の学術交流について話し会った。

3. 総会での承認承認事項の確認

(1)決算案、(2)予算案、(3)会員の異動、(4)KEEAとの協定の訂正について、事務局から提案があり、異議なく承認された。(5)経済教育学会賞の改訂については、この場での審議事項となった。奨励賞の年齢を41歳未満に引き上げることに、および推薦の締め切り日を2月末日に早めることは、すでに昨年の理事会で承認されている。学会賞規程の改訂案が示され、承認された。さらに、功労賞について学会賞選考委員会から提案があったが、種々意見が出され、継続審議となった。

4. 2020年3月の春季研究集会について

2020年3月7日(土)、城西国際大学(東京)紀尾井町キャンパスに行くことが報告された。実行委員長は阿部信太郎理事である。

審議事項

1. 次期会長について、

理事の互選により、高橋勝也理事が次期会長に決定した。

2. 学会誌編集委員会新体制について、

高橋勝也理事と竹達健顯理事の編集委員辞任のため、新委員に、越田年彦氏と高橋桂子氏が任命された。また、同時に、両氏を補充理事とすることを承認した。

3. 2020年度の全国大会について

事務局より、2020年の日本での大会について、共同シンポジウム、共同分科会の開催、計7名の韓国からの派遣等、KEEAからの提案について説明が行われた。大会の名称や、分科会、総会について、種々議論が行われた。来年度の大会は、名称は経済教育学会全国大会とするが、共同シンポジウム、共同分科会開催して、国際交流を深めるとの方針を決定した。なお、大会開催校は日本大学経済学部、実行委員長は齋藤哲哉理事である。開催日時については、入試等のため9月末は困難であり、10月の可能性もあるとの報告があった。

4. 主催の依頼について

久井田事務局長より12/8に開催される「経済学教育と英語教育の融合の実現を目指すシンポジウム(経済教育学会第6回地域研修会)」の主催を経済教育学会としたいとの依頼があり、理事会で審議上、承認された。

(新里泰孝)

2019年度 経済教育学会総会 議事録

議事に先立ち、議長に炭谷英一会員、書記に関本祐希理事が選出された。

I. 審議事項

第1号議案.2018年度会務報告 裴会長より資料に基づいて説明があり、異議なく了承

第2号議案.2018年度決算報告 事務局久井田会員より資料に基づいて決算状況について種々説明され、異議なく了承

第3号議案.2018年度会計監査報告 会計監査の浅野会員より資料に基づいて説明があり、適切に処理された旨報告された。その後、異議なく了承された。

第4号議案.2019年度予算 事務局久井田会員より2019年度予算案について報告された。山根会員より、消費税増税に伴う影響については考慮されているのかという質問があった。これに対して、事務局からは現在のところ管理委託会社などからの消費税増税に伴う値上げ等の話は来ていないこともあり、特段考慮した予算とはなっていない。影響分については、決算時に報告をしたいとの回答があった。

以上の議論の上、予算案は了承された。

第5号議案.KEEAとの協定の改訂について 裴会長より資料に基づいて説明があり、異議なく了承

(現行)

The accommodation cost, the number of conference days plus one night, should be covered by the host society. (e.g. in the case of 2 days

conference, the cost of 3 nights)

(改訂)

The accommodation cost, the cost of 3 nights, should be covered by the host society.

第 6 号議案.経済教育学会賞規定の改訂について 事務局久井田会員より資料に基づき、奨励賞の対象年齢引き上げは現状に鑑み対象者を拡大する為、推薦締め切り時期の変更は、春季研究集会で協議しやすいように、との趣旨であるとの説明がなされ、異議なく了承された。第 7 号議案.次期会長の承認 裴会長より理事会の理事会における協議内容の報告がなされた。初等中等教育と高等教育における経済教育の連携を考えていく上でも高橋会員が次期会長に適任と考え互選したとのことであった。その後異議なく了承され、高橋会員より挨拶があった。

(現行) 経済教育学会賞規程

第3条 学会賞は次の5種類とする。

経済教育学会奨励賞

当該期間内において 35 歳未満の学会員で、当該期間内に刊行・発表された著書・論文、教育実践活動で、特に優れた評価を得たものに対して2件以内

(改訂) 当該期間内において 41 歳未満の学会員で、当該期間内に刊行・発表された著書・論文、教育実践活動で、特に優れた評価を得たものに対して2件以内

(関本祐希)

理事会議事録

日時:2019年9月29日(日)12時00分から13時00分

場所:名古屋経済大学

出席者:阿部信太郎、岩田年浩、井草剛、宇佐見義尚、大坂洋、久井田直之、越田年彦、関本祐希、高橋勝也、高山新、田中淳、中里弘徳、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、松尾匡、水野勝之、水野英雄、八木紀一郎

参加者:19名 委任状:6名

議事に先立ち、議長に高橋勝也会長、書記に裴光雄会員が選出された。

新会長よりご挨拶

「CORE プロジェクトなどは専門家に任せ、自分は中高教員の経験が長いので、高大連携に特に取り組み、学会に貢献したい。」

審議事項

1 学会賞選考委員会について

久井田事務局長

今回の募集は、来年のこの時期。選考は2年後となる。柴田先生を除いて、他の先生は引き続き、お願いする方向でいきたい。

拍手で承認

2 シンポジウム後援依頼について

阿部先生より後援の依頼があった。「2019年12月に実施予定の『日本型金融リテラシー教育のあり方を探る』に後援をいただきたい。」

拍手で承認

3 前日理事会の継続審議事項について

事務局長より、来年度の全国大会は予めテーマを両学会で考えるなどした上で合同シンポジウムを実施していく方向で。再来年度以降については、今後検討する。

「今晚にでも日本の学会の現状について報告するようにしてもらいたい。」

事務局:そのようにしたい。

「理事会や総会の進め方はどうなるのか?」「これまで通りの形式?」

「大会名は?」

事務局:基本的に変えない方向で実施する。

「大会の日程を2日間半にするようにしてはどうか?」

事務局:今後検討を事務局で進める。

「テーマ決定の進め方を丁寧にやってもらいたい。シンポジウムテーマ設定の主体は?」

事務局:3月7日の理事会でシンポテーマを提案できるように、大会実行委員会と事務局で検討する。報告の募集などはこれまでと同様に5月に実施。

「誰に要望を出すのかを、明確に。」

事務局:まず大会実行委員会を立ち上げる。日大+関東近郊の先生で。実行委員会の中に韓国とのテーマ設定をする担当者を決める。理事会で、裴会員を実行委員に加えるように要請したという形をとっていただければ。

裴会員:国際交流担当理事との立場もあるので、実行委員会に入らせていただきたい。

4 その他

事務局:博士論文の一部に本学会掲載論文があるため、インターネット公開の承認をしてもらいたいとの依頼が事務局に来ている。

「博士論文のケースは別だが、学内のリポジトリに掲載する場合は、J-STAGEのURLを引用してもらう方向が良いのでは?」

「理事会で方針は決め、個々の許諾は会長にお任せするのがよいのでは?」

石田尚子会員の件については、承認。今後の同様なケースの進め方については、継続審議。

新編集委員の越田先生より挨拶があり、拍手で迎え入れられた。

(裴光雄)

学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。登録されていない方は学会事務局のメールアドレス office@ecoedu.jp に御知らせ願います。左の QR コードより、携帯メールから登録可能です。



<会員の異動>新入会員

2019 年度新規入会会員（ニューズレター第 31 号以降）

正会員

松村謙一（三重大学教育学部附属中学校）東野國子（大阪教育大学大学院）梅枝駿（セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校）藤澤宜広（大阪国際大学）鈴木文人（岩手県奥州市立水沢南中学校）宮啓啓介（東京福祉大学）矢吹隆（名古屋市立はとり中学校）寺田好秀（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

学生会員 中村賢軌（明治大学）

特別会員 中野裕美子（大妻女子大学）

2019 韓国経済教育学会夏季学術大会レポート

韓国経済教育学会は、8 月 22 日(木)に韓国と日本の経済教育関連学者や専門家をお招きし、慶北大学グローバルプラザ(大邱)で、2019 夏期学術大会を開催した。午前の第一部では、高校で経済教育を担当する教員を招き、高校経済教育の現状と問題点、そして対策を主題にし、ソウル、釜山、大邱から来た現職教師たちが、現在の経済教育が置かれている状況について学校現場で感じている生々しい現実を討論した。生徒は、経済教育の必要性や重要性について十分に分かっている。しかし、大学入試と関連して経済科目を選択する比率が下がり続けている。このような傾向が続けば、究極的には経済科目が高校で存在し続けることができるかという危機感を持っている。このような状況で、これまで高校生の大学入試における問題点を探し出し、代案を模索する論議を行った。午後の第二部では日本経済教育学会長を歴任した水野勝之(明治大)教授とゼミ生が、日本の経済データを利用した需要曲線と供給曲線を描く方法というテーマで発表した。
(韓国経済教育学会総務理事 釜山教育大学 金龍民(キム ヨンミン))

会費納入のお願い

2019 年度の年会費の納入をお願いいたします。2019 年 9 月下旬の納入状況に基づいております。前年度(2018 年度)以前の会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、ご注意ください。

また、特別会員制度により、65 歳以上の方は年会費が 2,500 円となります。該当する方は学会事務局へのメール (office@ecoedu.jp) もしくは、事務委託先 株式会社サラトまで御連絡願います。下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号:00920-3-252875

口座名義:経済教育学会

年会費:正会員 5,000 円、学生会員(大学院生を含む) 2,000 円、65 歳以上の会員 2,500 円・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体(詳細は <http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>) です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。

以下引用の規約にもとづき、過去の会費の未納分がある方は早急に会費を納入願っております。「2年間にわたり会費を納めないものは、原則として会員の資格を失う。学会誌送付時で年会費未納の会員については、その旨を伝えて、本会の出版物の配布を保留し、会費納入後に送付することとする」(会則 4 より) (2016 年 3 月春季理事会で改正)

イベントの案内(詳細は HP で)

- 12/1 9:30~16:00「日本型金融リテラシー教育のあり方を探る」@実践女子大学・渋谷キャンパス 503
- 12/8 13:00~17:00「経済学教育と英語教育の融合の実現をめざすシンポジウム」@大阪工業大学 OIT 梅田タワー202 号室セミナールーム

経済教育学会 ニューズレター 第 32 号

2019 年 11 月 1 日発行

発行人 経済教育学会会長 高橋勝也

編集人 久井田直之

発行所 日本大学経済学部 久井田直之研究室

〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2

電子メール office@ecoedu.jp

学会費送金先 ゆうちょ銀行

振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 株式会社 エムディーエス 03-5829-4960